

10月 地域の皆さんの健康を願って

31日 明治安田が寄附



▲目録を贈呈した高橋孝知四日市支社長（写真右）と副町長

明治安田生命保険相互会社より「私の地元応援募金」が寄附され、役場本庁で目録の贈呈式を開催しました。「私の地元応援募金」は同社の従業員が自身の出身地や居住地などゆかりのある地域へ募金をすることができる制度です。今回寄附いただいた809,300円は、町の健康増進事業などに活用する予定です。

11月 食と文化のフェスティバル

2日 菰野町文化祭を開催



▲大名行列の様子

町民センター・体育センター周辺をメイン会場として文化祭を開催しました。東町・旭町商店街では「イベントゾーン」、町民センター・体育センターでは「実りの祭典」、JA みえきた菰野支店では「ふるさと味まつり」を開催し、どの会場も多くの来場者で賑わいました。さらに、吉本興業所属のお笑い芸人「かけおち」の2人をゲストに迎え、イベントへの参加やトークショーを行い会場を盛り上げました。



10月29日 東京都で北伊勢地域をPR

～11月4日 北伊勢広域観光推進協議会が出展



▲PRコーナーに並べられた各市町の特産品

北伊勢広域観光推進協議会が東京都庁の全国観光PRコーナーで「～三重・北の恵～ええやん！大集合やん！北伊勢フェア」を10月29日から11月4日までの7日間開催しました。今回の出展では、各市町の観光協会や商工事業者等と連携し、特産品の販売やパンフレットの配付を通して、北伊勢地域の魅力を発信しました。北伊勢広域観光推進協議会は三重県北部に位置する菰野町を含む5市5町で構成され、北伊勢地域の観光推進に向けた様々な取り組みを実施しています。

10月 災害発生時のトイレ対策に

31日 防災備蓄品の贈呈式



▲目録を手に写る稲垣智宣代表取締役社長（写真右）と町長

永井区内に本社を構える株式会社イナガキよりポータブルトイレ17箱が寄贈され、役場本庁で受領式が執り行われました。今回寄贈されたポータブルトイレは、災害時の断水などの際にも衛生的にトイレを使用できるようにするためのもので、防災備蓄品として避難所などで活用します。



10月 町の魅力を移住検討者へPR

26日 みえ移住フェアに出展



▲菰野町のブースの様子

大 阪市で開催された「みえ移住フェア in 大阪」に出展しました。このイベントは県内市町の担当者がその魅力や生活情報を直接、移住を検討している方へ伝えることを目的として開催されており、のべ56組83名が来場しました。12月6日には東京都千代田区の東京交通会館で開催される「みえ移住フェア in 東京」に出展します。

10月 親子関係や子育てのヒントに

29日 書籍寄贈式



▲本を手に持ち写る町長（写真右）、松永さん（写真中央）、教育長

一般社団法人子育て・教育研究所クペリ（代表理事である松永高弘さんから書籍『今からでも大丈夫！子どものSOSは「育て直し」のチャンス』28冊が寄贈され、役場本庁で寄贈式が行われました。松永さんは「親子関係や子育てで悩んだ時のヒントになれば」と話しました。今回寄贈された本は、町内全ての小・中学校、学童クラブ、子育て支援センター、図書館に配架されます。



10月 秋の山を楽しむ

24日 THE HIKE を開催



▲鎌ヶ岳の登山道を進む参加者たち

THE HIKE 鈴鹿セブンマウンテンズ in 鎌ヶ岳＆御在所岳を開催しました。登山初心者の方でも安全に登山を楽しめるよう、多くの登山経験者がサポートし、20名が参加しました。また、山頂では「菰野藩主も登山が好きだった」という逸話にちなみ、彩向陽監修の「菰野藩主弁当」が昼食として振る舞われました。



10月 今回で10回目の開催

25・26日 こもガク祭を開催



▲多くのブースが立ち並んだメイン会場の体育センター

体育センターをメイン会場としてこもガク祭が開催されました。メイン会場では料理、木工、雑貨づくり、陶芸などさまざまなワークショップを体験することができるようになっており、来場者は職人や講師から教えてもらいながらものづくりを楽しんでいました。また、町内の事業所に直接出向き、普段は見ることもできないものづくりの裏側を見学したり体験したりする「こもガク見学」も開催されました。